

松葉学園グループ

広報 松葉学園

障害者支援施設 松葉学園グループ

施設長 佐藤 真実

共に考え共に生きる

このたび異動により4年ぶりに松葉学園に戻って参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

松葉学園の理念「共に考え共に生きる～その人らしくありのままに」には、利用者の方、家族の方、地域の方、そして職員同士が、共にお互い理解し合い支え合うことで、利用者の方の思いや願いの実現に取り組んでいこうという意味があります。この理念のもと、最も大切にしたいのは、「目に見えないもの」だと考えます。それは、言葉にすると、真心だったり、愛だったり、恩だったり、情だったりとなんとなく簡単な一言になってしまうのですが、相手を思いやるあったかい心こそ福祉の基本です。松葉学園職員は、そんな目に見えないものをたくさん感じられる人であるよう努めていこうと考えます。

ところで、前年度より、就労継続支援(B型)事業所いっとき館では、地域の商店街にある喫茶店「パーラーりぷとん」を前経営者から引継ぎ、利用者の方の働く場として経営を行っています。先日、職員の間で、「パーラーってどういう意味？」と話題になりました。「パーラー」には、「おもてなしをする場所」とか「休憩室」「談話室」という意味があるようです。改めて意味を知って、素敵な名前だな、ますます大切にしたい名前だなと思った次第です。そして、この「パーラーりぷとん」が今まで同様、おいしいコーヒーや食事と共に、地域の方々の憩いの場、ちょっと一息できる場所として活躍できればと思います。

「おはよう!」「調子どう?」「ごはん食べたでえ」「行って来まあ～す」「ただいま～」「お帰り」今日もまた、子どもも大人もたくさんの方が笑顔と共にわいわいとにぎやかに響きます。「いい一日だったなあ。」そんな日々が過ごせるようみんなで力を合わせてがんばります。